



長年スイミングに通っている中、友達から水墨画の教室に誘われました。長い間筆など使っていないので迷いましたが、花が好きで絵を見るのも好きなので思いきって入会しました。教室は緑水会東公民館です。安達先生の指導で基礎から学びました。教室の皆さん経験豊かな方ばかりで、作品を見せて頂くと写真のようなすばらしい絵でおどろきました。まだ一年余りで、濃淡の描き方がむづかしくて簡単な形のある物に挑戦しています。教室が和やかで明るい雰囲気なのでいつまでも続けて行きたいと思っています。



八女市馬場
山口 葉子

八女茶で健康

第73回(令和元年度)全国茶品評会玉露の部
第50回 八女市星野村の山口豪吉さん親子が日本一・二位獲得！

この品評会は、国の農林水産祭参加行事として、全国茶生産団体連合会が主催したもので、令和元年8月27日～30日まで愛知県西尾市の西尾コンベンションホールで開催されました。審査茶種は、煎茶10k、煎茶4k、深蒸し煎茶、玉露、かぶせ茶、てん茶(抹茶にする前のお茶)、蒸し製玉緑茶、釜炒り茶の8部門があり、それぞれの部門の1等1席には農林水産大臣賞が授与されることとなっております。

私は審査員20名の一人として審査をさせて頂きましたので、概要をご紹介します。

福岡県からは、煎茶2部門と玉露、かぶせ茶、てん茶部門に出品し、それぞれ多くのお茶が入賞したことにより、八女茶の名声を大いに高めることとなりました。中でも玉露部門では、1位から26位まで独占し、1等1席の日本一には八女市星野村の山口豪吉さん(70歳)が輝かれました。外観(形状や色沢)、香気、水色(茶碗に淹れたときの茶の色)、味の各審査項目で満点を取られ、まさに日本一にふさわしい玉露でした。

山口豪吉さんご一家は、これまで約50年もの間、毎年、全国茶品評会玉露の部に挑戦し、初の全国制覇を成し遂げられました。玉露づくりでは、2席になられた後継者の孝臣さんと共に県農林業総合試験場八女分場と協働してIOT(遮光率、温度、湿度センサーとカメラによる栽培技術の数値化)を活用し、茶園の被覆の開始時期や被覆の程度、摘採時期を研究されています。膨大な記録データが集積されており、分析や活用が期待されています。石の上にも3年という諺がありますが、50年の長きにわたり伝統的な高級玉露づくりや先進的なIOTの活用に尽力され、日本一の八女玉露を支えておられる姿にただ脱帽し、優れた業績に敬意を申し上げる次第です。

福岡県茶生産組合連合会事務局長 仁田原 寿一



山口豪吉さん、孝臣さん・中央はIOTセンサー

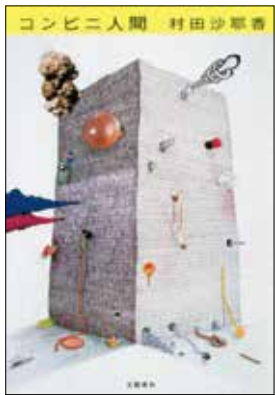


第73回全国茶品評会審査(愛知県西尾市)

今月の一冊

館長オススメ本 コンビニ人間

村田 紗耶香 / 著
文芸春秋
本体 1,300円(税別)



筑後市立図書館で毎月行っている「ちっこ読書会」での8月の課題本だった「コンビニ人間」を紹介します。幼少期に周りの子と違う考え方や行動をすることで、常に「普通」にすることを家族から求められて育った女性(古倉)の話。

周りが求める「普通」って何?疑問に思いながらも、30代の女性の「普通」を意識して生きていた古倉がある男性と知り合い、古倉の住むアパートで一緒に生活をする中で自分らしい生きかたを見つけていくのだけれど...驚きの連続です。

筑後市立図書館 館長 一ノ瀬 留美



◆イベント案内 10月～11月前半◆

■おりなす八女

☎ 0943-22-5332

- 10月20日 15:00 開演
プラハ・チェロ・カルテット
- 10月24日 19:00 開演
前川清ファミリーコンサート
- 11月17日 16:30 開演
夏川りみ20周年記念ツアー2019

■九州芸文館 ☎ 0942-52-6435

- 10月26日(土)・27日(日)
九州クリエイターズマーケット Vol.13
木工体験・くすべえ巨大ふわふわ人形
中庭ガーデンカフェ
セラピューティック・ケア体験

■筑後市立図書館 ☎ 0942-51-7200

- 毎週土曜日 おはなし会
● 10月16日 大人のためのおはなし会
● 10月26日 子育てをがんばる方にゆっくりと読書タイム・託児付
図書館でボードゲーム
- 10月30日 図書館で認知症かふえ

■ひろかわ町立図書館 ☎ 0943-32-1163

■立花短歌会

手から手へバトンリレーの四百の選手を目指し
凌ぎを削る
働き者の我ら仲間
手と手と手見せ合いながら
話しは尽きず
スーパードライ物をするおとうさんメモ紙片
手にあつちこつちへ
人として手に手をとる
合い過ぎる来ぬこれ
からも尚手に手をとって
青空に真白き雲の浮き立ちてあ
の雲この手に
つかんでみたい
生まれきて五日たらずの
嬰兒の小さきその手
がわが指にぎる
手作りのジャガ万十が
美味しいと云う子等の
ためひと汗流す
その一手いつ覚えたのか
手ごわくて孫との将
棋は一勝一敗
自らの手にて摘んだ
草花を手渡し
くれし孫にめろめろ
手を見ればシワシミあり
て色黒く節々太きは
農の勲章

山崎 陽子
柴田 眞理
水本 艶子
水本 辰次
原口 あつ美
酒井 司
野中 勝美
松延 朝美
青木 佳代子
一瀬 砂智子
美座 節子
結束 節子

■ひろかわ俳句会

風鈴や風の吐息も見逃がさず
願ひごと流るる星に追いつかず
編笠の乙女嬬やか風の盆
虫の音や風心地好き夕間暮れ
盆月や白寿祝ひの母囲む
客人もなくのんびりと盆の行く
ふるさとの訛なつかし盆の客
納骨堂老いも若きも盆詣り
新盆の供花は真白き母の顔
墓そうじ終え朝いちの女郎花
村里の天神祭児等神輿
夏祭り自転車当たる高校生

■紫苑句会

千日紅庭を彩りこぼれさう
終戦日暑きあの日のありありと
月の出を見る庭園の灯の消され
老若も小さき町の盆踊り
嬉々として浅瀬で泳ぐ浮輪の子

松延みさと
牛島 景子
堤 多鶴子
中川 篤子
井上 トシ子

クラッシー文芸